



国土交通省 関東地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau

扱
い

7月28日(木)12時以降

解 禁

平成28年7月27日(水)

国土交通省関東地方整備局

千葉港湾事務所

記者発表資料

平成27年度優良工事の事務所長表彰について

国土交通省関東地方整備局千葉港湾事務所は、平成27年度に完了した工事の中で特に優れた成績を収めた工事、技術者について、平成27年度事務所長表彰を下記により執り行います。

- 日 時 平成28年7月28日(木)10時30分～11時30分
- 場 所 千葉港湾合同庁舎 2階 会議室
- 表 彰 件 数 優良工事・・・1件
優秀工事技術者・・・1名

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・千葉県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局千葉港湾事務所

副所長 ありかわ たつみ
蟻川 辰美

保全課長 なかむら ひろあき
中村 浩明

電話 043-243-9172

FAX 043-243-1939

平成27年度優良工事の表彰について

1. 概要

平成27年度に千葉港湾事務所で完成した工事の中から、その施工への取り組みが優秀で他の模範となる工事を選定し、当該企業及び技術者を表彰することにより建設における技術の向上及び円滑な事業推進に資することを目的とします。

2. 平成27年度優良工事[事務所長表彰]

【優良工事及び優秀工事技術者】

工事件名……………千葉港葛南中央地区航路(−12m)浚渫工事

企業名……………京浜港湾工事(株)

優秀工事技術者………現場代理人 鈴木 正史

3. 工事の概要及び表彰理由(資料参照)

4. 表彰式

表彰式は、優良工事受賞社、優秀工事技術者が出席し、事務所長から表彰状が授与されます。

5. 取材について

- ・当日の取材は可能です。
- ・カメラ撮り等は、式の進行の妨げにならないようにお願いします。
- ・当日、会場受付にて名刺をお渡しくださるよう、お願いします。

資 料

国土交通省関東地方整備局千葉港湾事務所
平成27年度優良工事の事務所長表彰について
記者発表資料(参考資料)

平成27年度
優良工事事務所長表彰
優秀工事技術者事務所長表彰
工事概要及び表彰理由

平成28年7月27日
国土交通省関東地方整備局
千葉港湾事務所

優良工事及び優秀工事技術者事務所長表彰の概要及び表彰理由

| | | | |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-------|
| ふりがな 業者名 | けいひんこうわんこうじかぶしがいしゃ 京浜港湾工事株式会社 | | |
| ふりがな 技術者名 | すずき まさし 鈴木 正史 | 職種 | 現場代理人 |
| ふりがな 工事名 | ちばこうかつなんちゆうおうちくこうろまいなすじゆーにめーたーしゆんせつこうじ 千葉港葛南中央地区航路(－12m)浚渫工事 | | |
| 工期 | (自) 平成27年4月27日 (至) 平成27年8月28日 | | |
| 事務所名 | 千葉港湾事務所 | | |
| 工事概要 | 本工事は、千葉港葛南中央地区航路(－12m)において浚渫工、土捨工、及び仮設工を施工するものである。 | | |
| 表彰理由 【工事】 | <p>本工事は、施工場所が施工条件の厳しい航路内であり、工程も厳しかったが、以下の対応により航行船舶に対する安全管理に努め、無事故にて工事を完了させた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○作業当日の「岸壁入出港予定船情報」を入手し、効率的な施工場所を計画 ○リアルタイムで航行船舶の動静確認を行い、航行船舶に支障が無いよう必要により施工位置を変更 ○入出港船の航行に伴い、浚渫船を航路外に退避 ○夜間・休日は所定の退避場所へ移動し停泊 ○緊急時の対応に備え操船可能な体制を確保し、形象物及び灯火等を表示 ○浚渫船の施工管理システムにより、掘削を行い、掘り残しをなくす ○土砂運搬中、航行船舶及び操業中の漁船等へ支障にならないよう十分に配慮 ○航行前、安全監視船との情報確認を行い、回頭作業の安全を確認 ○土運船に見張り員を配備して、航路の船舶の動静を監視 など | | |
| 表彰理由 【技術者】 | <p>本工事は、施工場所が施工条件の厳しい航路内であり、工程も厳しい条件であったが、漁業関係者との調整を速やかに行い、作業当日の「岸壁入出港予定船情報」を入手し、効率的な施工計画をたて、リアルタイムで航行船舶の動静確認を行い航行船舶に支障が無いよう調整し、土砂運搬中も航行船舶や操業中の漁船へも十分な配慮を行い、航行船舶に対する安全管理に努め、浚渫船の施工管理システムにより掘り残しをなくすなど工程管理をしっかりと行い無事故にて工事を完了させた。</p> | | |